

内部寄生虫・外部寄生虫駆虫の案内

平素は格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。

今回、内部寄生虫・外部寄生虫の駆除を効果的に行うための「予防セット」の提供を行うことに致しました。

【駆虫を行うプラス要因】

① 子犬・子猫の死亡率を下げる。

子犬子猫は成犬と比べ内部寄生虫での下痢などの症状が重症化しやすく死亡原因にもなります。

② 受胎率UP

畜産(牛)では、寄生虫の駆虫を行うと受胎率が向上したというデータがあります。

③ 外部寄生虫駆除

外部寄生虫の寄生で皮膚炎がおこり、フケなどがでることを予防します。

また子犬・子猫への伝染予防にもなります。

* 獣医師の診察(ワクチン巡回)後駆虫薬を処方することができます。①、②

バイオプラスファーマシー(薬局)では②の動物用医薬品に限って、指示書(処方箋)での販売も行っています。

* 動物用医薬品指示書は動物病院で記入してもらおう書類です。

① <<寄生虫駆虫セット犬猫共通>> 1セット(10日分) 弊社獣医師の処方のみ対応

1Kg当	対象寄生虫
トルトラズリル製剤(コクシジウム駆虫薬)	コクシジウム ジアルジア トリコモナス 回虫 鉤虫 瓜実条虫 猫条虫(猫) 犬鞭虫(犬) 糞線虫 犬糸状虫 ツメダニ カイセン
ドロンタールプラス(犬・猫)	
イベルメクチン希釈液(経口用)	
フラジール	

② <<外部寄生虫駆虫>>

	対象寄生虫
レボリューション 体重ごとに規格あり	ノミ、耳ダニ、回虫、フィラリア

契約ブリーダー様特別価格にて、ご提供させていただきます
価格についてはお問合せください。

株式会社 AHB バイオプラスファーマシー

住所) 東京都江東区木場 3-7-11

電話) 03-5646-6894

Mail) yakuhin@petplus.co.jp

* 注意事項 *

- 処方料が別途かかります。
- 薬局で購入の場合は獣医師の処方箋(動物用医薬品指示書)が必要です。②の薬品のみ対応。
- 予防薬のセットです。実際に治療で投薬する場合は追加投薬が必要な場合があります。
- 犬系状虫(フィラリア)予防はシーズン中は毎月投薬が必要です。(イベルメクチン)
* イベルメクチンはコリー犬種では中毒の可能性あるため使用不可
- フィラリア感染していないかの血液検査を事前に行う必要があります。(事前検査後に薬品購入をお願いします)
フィラリア感染時にフィラリア予防薬を投与すると元気消失、食欲不振、嘔吐、呼吸促拍などの症状
が起きることがあります。

《投薬予定表》

犬・猫共通

投薬日	トルトラズリル製剤	イベルメクチン	ドロンタールプラス	フラジール
1	○	○	○	○
2			○	○
3			○	○
4				○
5				○
6				○
7	○	○		○
8			○	○
9			○	○
10			○	○

ご不明な点等ございましたら、ご遠慮なくご連絡を頂ければと思います。

株式会社 AHB
バイオプラスファーマシー
住所) 東京都江東区木場 3-7-11
電話) 03-5646-6894
Mail) yakuhin@petplus.co.jp